

9月になり、これまで猛暑だった上海もすっかり秋めいてきました。9月15日は日本でも中秋の名月という言葉があると思いますが、中国では同じように中秋節という、祭日であり、家族そろって月餅を食べるという習慣があります。ジェック上海は、この中秋節に、富山県の錫工芸品メーカーである、能作と共に、月見酒イベントを行ないました。

【中国における日本の工芸品市場の変移

2013年、2014年ごろ、中国において、南部鉄瓶が非常に人気となっていたことは、皆さんご存知だと思います。2013年から2016年までの中国の市場状況は激しく変化しています。習政権に変更後、厳しく、賄賂が取り締まりられ、以前ほどの豪華なギフトは減ったと言えます。また、円安、旅行ビザの解禁により、日本旅行者が増え、中国ではなく、日本で買おうという考えが中国人の間でひろがりました。2016年現在では、過去のように、富裕層といわれる40,50代の愛好者、投資者も健在ですが、一方で、20,30代の生活を楽しむ世代の台頭が目立ち、日本の工芸品が見直されています。



【工芸品イベントをする理由】

中国という、日本と同じ黄色人種の隣国であっても、ライフスタイルは大きく異なります。食器や、花器などにたいする概念も大きく異なりますので、どのように使うことができるか、何が素晴らしいのか、その工芸品の価値を伝える、イベントは、販促において、非常に、有効であると言えます。小売店からしても、お客様に対して、本物の証、協力体制を得ている証となり、小売店のイメージアップ、新顧客開拓のきっかけとなります。

安く、分かりやすい商品であれば、置くだけで売れることもあります、工芸品は努力をしなければいけません。



【イベント趣旨今後の展開】

今回の取り組みは、Lost&Foundという中国のお洒落な家具屋と共に行ないました。このイベントをきっかけに、長期的に商品の販売を共に行なっていく予定です。9月はお月見の季節であり、能作の酒器を使った、雰囲気の良い、お洒落な大人向けのイベントをし、能作を体験してもらい、特徴、面白さを知って頂くためのイベントでした。その日はあいにくの台風でしたが、ここでみなさんと素敵なお月見が出来て嬉しかったという来場者の感想でした。今後は、この家具屋とのコラボレーションを拡大する、その一方で、ホテルなどの業務用としてのニーズを探り、更なる展開を図っていきます。



株式会社ジェック経営コンサルタント上海事務所
 皆逸希国際貿易（上海）有限公司（高原）
 ADD：上海市長寧区遵義南路88号協泰中心2305室
 TEL:021-61157061
 E-mail: takahara@jeck.cn
<http://www.jeck.cn/>